

# Enjoy Jazz **エンジョイ** ジャズ

## サマー Summer

2021.8/22日  
15:00開演 14:30開場

～細谷ヒロ スペシャルカルテット & 宮原美絵～

若手サクソプレイヤーで海外演奏経験者、細谷ヒロ率いるカルテットに、ニューヨークの名門「ブルーノート」に出演経験者、宮原美絵をボーカルに迎えて贈るスペシャルコンサート。



細谷ヒロ(サクソ)



宮原美絵(ヴォーカル)

## オータム Autumn

2021.9/12日  
15:00開演 14:30開場

～北島佳乃子トリオ with 瀬瀬歩美  
スペシャル・ジャズ・コンサート～

ジャズ界のクールビューティーが待望の歸演/ビバップを継承する新世代の至宝、北島佳乃子と瀬瀬歩美が描く、カルテットならではの美しいグルーブ、そしてプレミアムなステージ!



北島佳乃子(ピアノ)



ゲスト：瀬瀬歩美(サクソ)



木村耕平(ベース)



唐澤龍彦(ピアノ)



佐々木空(ドラムス)



中村健吾(ベース)



藤井学(ドラムス)

【予定曲目】 A列車で行こう、マイ フェイバリット シングス、  
テネシーワルツ 他

【予定曲目】 Alone together、It's Easy to Remember、  
Someday My Prince Will Come (いつか王子様が) 他

会場 玉村町文化センター『にしきのホール』(大ホール)

※未就学児の入場は  
ご遠慮ください。

チケット 全自由席 2,500円 (高校生以下 1,000円) ●チケット発売日●5月22日

お得な2公演セット券  
4,000円

主催/ (公財) 玉村町文化振興財団 後援/ (株) クレッシェンド TEL090-3504-2792

問い合わせ/ (公財) 玉村町文化振興財団 TEL0270-65-0600 (9:00~17:00 月・祝休み)

〒370-1105 群馬県佐波郡玉村町福島325 <http://www.tamamura-bunka.or.jp>

# Enjoy Jazz インジョイ ジャズ

## サマー

### Profile

#### 細谷ヒロ Hiro Hosoya/Sax

2010年に群馬県のソココンテスト高校の部で金賞を受賞し、その後ジャズに転向。大学在学中から年間6回程度のワンマンライブを定期開催する傍ら、各種イベントで幅広く演奏活動を行う。学生時代にはコンサートマスターとして所属するビッグバンドを全国大会へと導いた。大学卒業、海外数カ国で路上ライブなどをしながら現地のミュージシャン達と交流して経験を積む。2021年から拠点を東京に移して活動している。

#### 木村耕平 Kouhei Kimura/Bass

12歳からエレキベースを始め、20歳からアメリカに移住し10年間音楽や英語を学ぶ。渡米中にはJAZZ.HIPHOP.ROCKなど数々のレコーディングに参加。帰国後は関東を中心に日本全国で活動中。ウッドベース、エレキベースを弾く。

#### 唐澤龍彦 Tatsuhiko Karasawa/Piano

1964年生まれ。ジャズピアニストとして主に関東北部で活動。トロンボーンプレイヤー、作曲家のTodd Lowery氏に師事し音楽理論と作曲を学ぶ。ピアニスト、ヴォーカリストとしてジャズスタンダードなどを演奏しながら自身のオリジナル曲中心のプログラムも多く、現在では特にストレートなジャズフォーマットにとらわれない曲を演奏するユニット“Panta Rhei”での活動がメイン。また近年では画家、イラストレーター、映像作家としての活動も多くなっている。

#### 佐々木空 Sora Sasaki/Drums

宮城県出身。音楽好きの両親の影響で12歳からギターを始め。小山工業高等学校入学と共に吹奏楽部に入部。一年間パーカッションを務めた後、アルトサクソに転向。群馬大学編入と共にジャズ研に入部しジャズドラムと出会う。在学中から県内のジャズバーを中心に演奏活動を開始。現在は北関東を中心に演奏活動を行っている。

#### 宮原美絵 Mie Miyahara/Vocal

2001年にニューヨーク在住のボーカリスト天野昇子氏に師事。2003年ニューヨークの名門ブルーノートに出演。2004年に県内のボーカリスト5人で「Dream Voices」を結成し、毎年3月にチャリティーライブを開催。2005年群馬県桐生市にJazz&Blues Bar「Village」をOpen。2012年ファーストアルバム「Nature」をリリース。2018年セカンドアルバム「Imagination」をリリース。現在は「Village」を経営しながら、県内都内各地でライブ活動やイベント活動を行なっている。またFM桐生にてジャズ番組「The Village Voice」のパーソナリティーも務めている。

## オータム

### Profile

#### 北島佳乃子 Kanoko Kitajima/Piano

福岡県出身。2010年福岡女子短期大学音楽科ピアノ専攻卒業。2014年小沢征爾氏と大西順子氏が主催する「サイトウキネンジャズワークショップ」に全国から選抜され参加。2016年ジャズ批評誌で、要注目ミュージシャンとして取り上げられる。2019年1stアルバム『Long way to go』をリリース。同年7月、小林陽一率いる「J Messengers」のピアニストとして、ヴィンセント・ハーリング(as)、フィリップ・ハーバー(tp)、エシエット・オコン・エシエット(b)との全国ツアーに参加。以後、岡崎好朗(tp)、植松孝夫(ts)、村上寛(ds)、古野光昭(b)、奥平真吾(ds)等、多数の著名なアーティストと共演する。レッド・ガーランド、ウィントン・ケリー、バリー・ハリス等バップ系ピアニストに傾倒する気鋭のピアニスト。

#### 中村健吾 Kengo Nakamura/Bass

大阪府出身。1991年パークリー音楽大学卒業後、ニューヨークへ移る。1997年巨匠ウィントン・マルサリスが音楽監督を務めるリンカーンセンター・ジャズ・オーケストラに参加。また、マルサリス・カルテットのメンバーとして、クリントン前大統領主催のプレジデント・サミットで演奏。2000年渡辺貞夫カルテットツアーに参加。2001年小曽根真がプロデュースしたニューヨーク録音によるデビュー作『Divine』をユニバーサルミュージックからメジャーリリース。2005年グラミー賞にノミネートされたマルサリスのアルバム『Live at the House of Tribes』(Blue Note)にクインテットのメンバーとして録音に参加。現在、小曽根真ビッグバンド「No Name Horses」の主要メンバーとしても活躍中。

#### 藤井学 Manabu Fujii/Drums

広島県出身。14歳からドラムを始め、15歳の時『リッチ vs ローチ』のレコードを聴き、ジャズに目覚める。大学進学を機に名古屋で佐武伸康氏に師事。その後、阿川泰子のバンドメンバーとして、日本テレビ「オジャレ30・30」に出演。2004年アメリカ録音によるリーダー作『I'm a drummer』をリリース。2011年よりサラナ・ジョーンズの全国ツアーをサポート。渡辺香津美、寺井尚子、市川秀男、向井滋春、木住野佳子、矢野沙織、カール・カーター、ティブ・フィンク、バリー・フィナティ等、ビッグネームと多数共演。オール・ジャンルをこなすテクニカルなドラマー。

#### 緞緞歩美 Ayumi Koketsu/Sax

岐阜県出身。弱冠21歳でポニーキャニオンよりアルバム『Struttin'』でメジャーデビュー。2011年NHK総合テレビの大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」のエンディングテーマに演奏参加。2012年日本テレビ「スッキリ」に出演。2018年に小野リサがプロデュースした初のボサノヴァアルバム『オ・パト』(最新作)をはじめ、ノルウェー録音、ニューヨーク録音を含む計8枚のアルバムをリリース。デヴィッド・ヘイゼルタイン、デヴィッド・ウィリアムス、ルイス・ナツシユ、ウィリー・ジョーンズ、日野皓正、渡辺香津美等、国内外の著名なアーティストと多数共演。洗練された柔らかな音色とダイナミックなアプローチを得意とし、アート・ベッツパー、リー・コニッツ等に影響を受けたクールジャズを継承する気鋭のサクソ奏者。